

# UCCX ソリューションの ECDSA 認証を理解して下さい

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[手順](#)

[アップグレード前の CA 署名入り認証](#)

[アップグレード前の自己署名証明書](#)

[設定](#)

[UCCX および SocialMiner のための署名入り認証](#)

[UCCX および SocialMiner のための自己署名証明書](#)

[よく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料に楕円曲線 Digital Signature Algorithm ( ECDSA ) 認証の使用のための Cisco Unified Contact Center Express ( UCCX ) ソリューションを設定する方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

この資料に説明があるコンフィギュレーションのステップを続行する前に、これらのアプリケーションのための Operating System ( OS ) 管理 ページにアクセスできることを確認して下さい:

- UCCX
- SocialMiner
- Cisco Unified Communications Manager ( CUCM )
- UCCX ソリューション 認証 設定- <http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/customer-collaboration/unified-contact-center-express/118855-configure-uccx-00.html>

管理者はまたエージェントおよびスーパーバイザ クライアント PC の証明書ストアにアクセスできなければなりません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 背景説明

共通基準（CC）認証の一部として、Cisco Unified Communications Manager はバージョン 11.0 の ECDSA 認証を追加しました。これはバージョン 11.5 からの UCCX、SocialMiner、MediaSense、等のようなすべての音声オペレーティング システム（VOS）製品に影響を及ぼします。

楕円曲線デジタル署名アルゴリズムについてのより多くの詳細はここに見つけることができます：  
<https://www.maximintegrated.com/en/app-notes/index.mvp/id/5767>

UCCX ソリューションに関して、11.5 にアップグレードするとき、現在のより早くなかった追加認証を提供されます。これは TomcatECDSA 認証です。

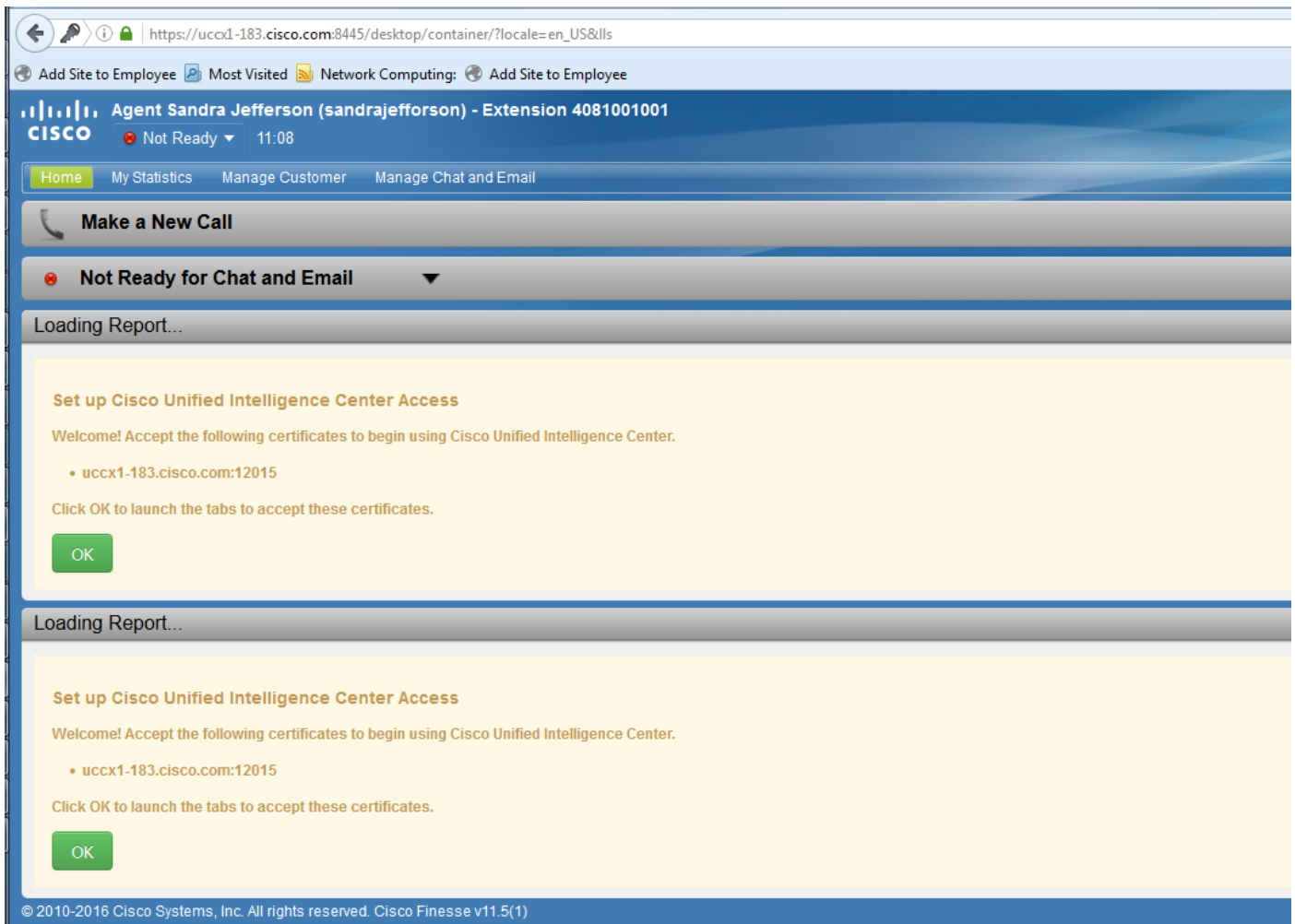
これはまたリリース前の通信で文書化されています：

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/customer-collaboration/unified-contact-center-express/200651-UCCX-Version-11-5-Prerelease-Field-Commu.html?cachemode=refresh>

## エージェント エクスペリエンス

認証は自己署名であるまたは認証局（CA）がもしもせんかどうかに基づいて技巧署名するデスクトップの認証を受け入れるために 11.5 へのアップグレードが、エージェント頼まれる後。

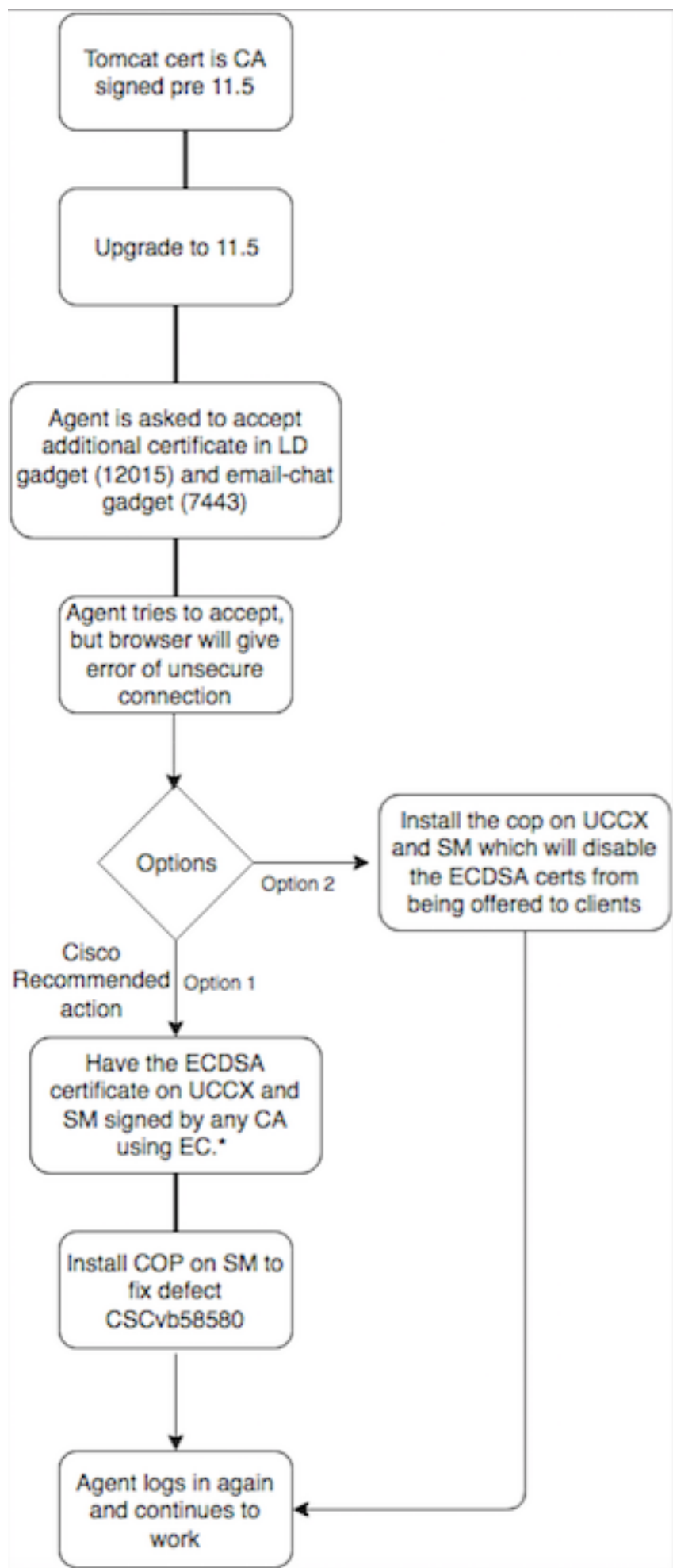
## 11.5 へのユーザ エクスペリエンス ポスト アップグレード



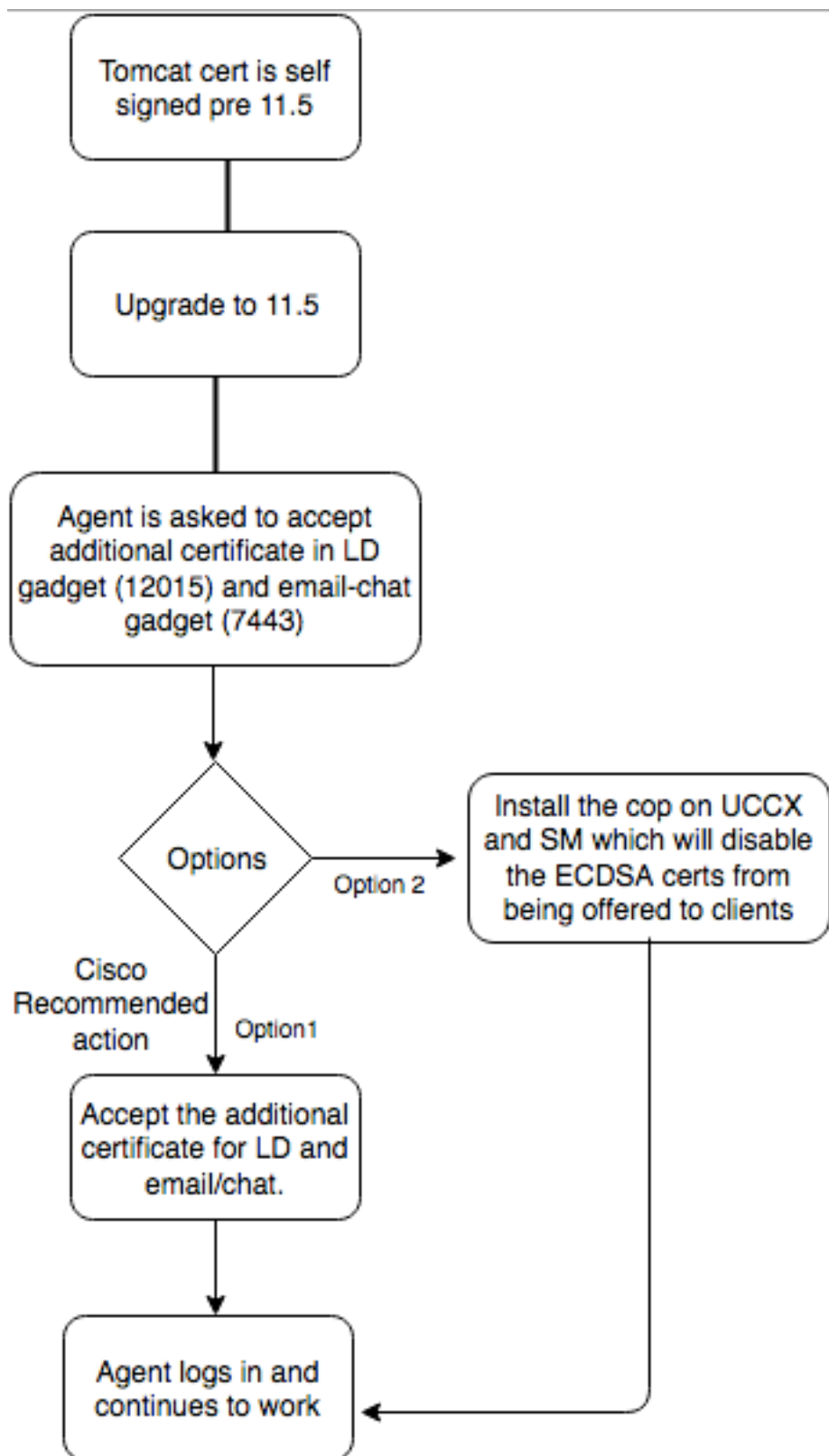
これは技巧デスクトップが今先に提供されなかった ECDSA 認証を提供されるという理由によります。

## 手順

### アップグレード前の CA 署名入り認証



## アップグレード前の自己署名証明書



## 設定

この認証のために推奨される最良の方法

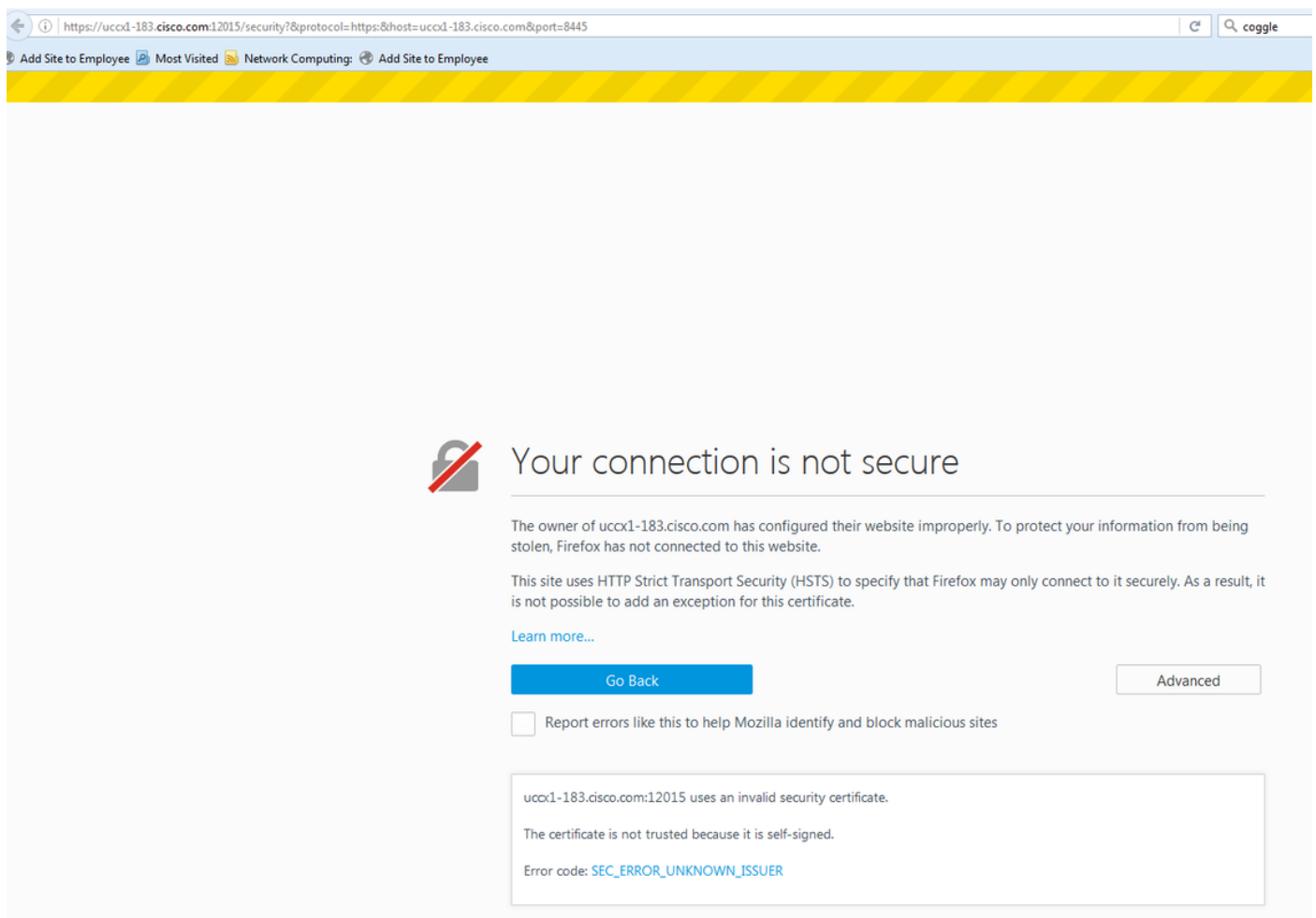
UCCX および SocialMiner のための署名入り認証

CA 署名入り認証を使用する場合、この ECDSA 認証は他の認証と共に認証局（CA）によって署名する必要があります

注: CA が RSA のこの ECDSA 認証に署名する場合、この certificate はクライアントに示されません。高められたセキュリティに関しては、クライアントに提供される ECDSA 認証は推奨される最良の方法です。

注: SocialMiner の ECDSA 認証が RSA の CA によって署名する場合、電子メールおよびチャットにおいての問題を引き起こしています。これは問題 [CSCvb58580](#) で文書化されています、警察官ファイルは利用できます。この COPS は ECDSA 認証がクライアントに提供されないようにします。RSA だけの ECDSA 認証に署名するために可能である CA があつたらこの認証を使用しないで下さい。ECDSA 認証が提供されないし、RSA 環境だけあるように警察官を使用して下さい。

CA 署名入り認証を使用すれば、そしてアップグレードに署名し、アップロードされる ECDSA 認証がなかった後エージェントは追加認証を受け入れるためにメッセージを経験します。それらが『OK』をクリックするとき、Webサイトにリダイレクトされます。ただし ECDSA 認証が署名する自己であるおよび他の Web 認証は署名する CA ですので、ブラウザ側からのセキュリティ適用が理由でこの失敗。この通信は security リスクとして感知されます。



The screenshot shows a Firefox browser window with the address bar displaying `https://uccx1-183.cisco.com:12015/security?&protocol=https&host=uccx1-183.cisco.com&port=8445`. The browser's address bar shows "Add Site to Employee", "Most Visited", and "Network Computing: Add Site to Employee". The main content area displays a security warning with a red padlock icon and the text "Your connection is not secure". Below this, it explains that the website owner has configured the site improperly and that Firefox cannot connect to it. It also mentions that the site uses HTTP Strict Transport Security (HSTS) and that it is not possible to add an exception for this certificate. There are two buttons: "Go Back" and "Advanced". A checkbox is present with the text "Report errors like this to help Mozilla identify and block malicious sites". At the bottom, a box contains the following text: "uccx1-183.cisco.com:12015 uses an invalid security certificate. The certificate is not trusted because it is self-signed. Error code: SEC\_ERROR\_UNKNOWN\_ISSUER".

バージョン 11.5 の UCCX および SocialMiner にアップグレードの後で UCCX パブリッシャ および サブスクライバおよび SocialMiner の各ノードのこれらのステップを、完了して下さい:

1. OS 管理 ページにナビゲートし、> **Certificate Management** を『Security』を選択して下さい。

2. [Generate CSR] をクリックします。
3. **認証** リスト ドロップダウン リストから、TomcatECDSA を証明書名として選択し、CSR を『Generate』 をクリックして下さい。
4. **セキュリティ > Certificate Management** へのナビゲートは CSR を『Download』 を選択し  
。
5. ポップアップ ウィンドウから、TomcatECDSA をドロップダウン リストから選択し、CSR を『Download』 をクリックして下さい。

新しい CSR をサードパーティ CA に送るか、または EC 認証に署名する内部 CA と署名して下さい。これはこれらの署名入り認証を生成します:

- CA (アプリケーション 認証および EC 認証のための原証明のために同じ CA を使用すれば、このステップをスキップできます)
- UCCX パブリッシャ ECDSA 署名入り認証
- UCCX サブスクライバ ECDSA 署名入り認証
- SocialMiner ECDSA 署名入り認証

**注:** パブリッシャ (UCCX) のルートおよび中間物認証をアップロードすれば、それはサブスクライバに自動的に複製されます。アプリケーション 認証すべてが同じ証明書チェーンで署名する場合他にルートまたは中間物認証をアップロードする必要が設定の非パブリッシャサーバありません。また UCCX アプリケーション 認証を設定したときに同じ CA が EC 認証に署名する既にこれを終了していたら場合原証明のこのアップロードをスキップでき。

ノードに原証明および EC 認証をアップロードするために各アプリケーションサーバのこれらのステップを完了して下さい:

1. **OS 管理** ページにナビゲートし、> **Certificate Management** を『Security』 を選択して下さい。
2. **認証** を『Upload』 をクリックして下さい。
3. 原証明をアップロードし、認証タイプとして Tomcat **信頼** を選択して下さい。
4. [Upload File] をクリックします。
5. **認証** を『Upload』 をクリックして下さい。
6. アプリケーション 認証をアップロードし、認証タイプとして TomcatECDSA を選択して下さい。
7. [Upload File] をクリックします。

**注:** 下位 CA が認証に署名する場合、原証明の代わりに Tomcat **信頼** 認証として下位 CA の原証明をアップロードして下さい。中間認証が発行される場合、アプリケーション 認証に加えて Tomcat **信頼** ストアにこの認証をアップロードして下さい。また UCCX アプリケーション 認証を設定したときに同じ CA が EC 認証に署名する既にこれを終了していたら場合原

証明のこのアップロードをスキップでき。

8. 完全、これらのアプリケーションを再起動して下さい:

Cisco SocialMinerCisco UCCX パブリッシャ および サブスクライバ

## UCCX および SocialMiner のための自己署名証明書

認証警告を受け入れるために UCCX または SocialMiner 使用 自己署名証明書が、エージェント助言される必要があればチャット電子メール小道具で提供され、小道具データ住んでいます。

自己署名証明書をクライアントマシンでインストールするために、グループ ポリシーまたはパッケージ マネージャを使用するか、または各エージェント PC のブラウザにそれらをそれぞれインストールして下さい。

Internet Explorer に関しては、**信頼されたルート認証局** ストアにクライアント側の自己署名証明書をインストールして下さい。

Mozilla Firefox に関しては、これらのステップを完了して下さい:

1. ツール > オプションへのナビゲート。
2. [Advanced] タブをクリックします。
3. **認証**を『View』 をクリックして下さい。
4. **サーバ** タブへのナビゲート。
5. **例外**を『Add』 をクリックして下さい。

1. 注: また上のプロセスと同等である認証をインストールするためにセキュリティ例外を追加できます。これはクライアントの 1 時間設定です。

## よく寄せられる質問 ( FAQ )

CA 署名入り認証があり、EC CA によって署名される必要 ECDSA 認証を使用したいと思います。利用可能であるために CA 署名入り認証を待っている間、ライブ データがある必要があります。どうしたらよいですか。

この追加認証に署名するか、またはエージェントをこの追加認証を受け入れてもらいたくないと思いません。どうしたらよいですか。

推奨事項が ECDSA 認証をブラウザに示してもらおうことであるがそれをディセーブルにするオプションがあります。RSA 認証だけクライアントに示されるようにする UCCX および SocialMiner で警察官ファイルをインストールできます。ECDSA 認証はまだ keystore に残りますが、クライアントに提供されません。

この警察官をクライアントに提供される ECDSA 認証をディセーブルにすればのに使用する場合はそれを有効に することができますか。



はい、提供されるロールバック警察官があります。それが適用すれば、この認証をサーバに署名され、uplaoded 得ることができます。

すべての認証は ECDSA になされますか。

現在ない、しかし VOS プラットフォームのそれ以上のセキュリティ更新プログラム将来。

いつ UCCX COPS をインストールしますか。

- 自己署名証明書を使用し、エージェントに追加認証を受け入れてほしくない時
- 追加認証を CA によって署名されて得ることができない時

いつ SM COPS をインストールしますか。

- 自己署名証明書を使用し、エージェントに追加認証を受け入れてほしくない時
- 追加認証を CA によって署名されて得ることができない時
- RSA だけの ECDSA 認証に署名するために可能である CA がある時

異なる Webサーバ 例によってデフォルトで提供される認証とは何か。

認証 組み合わせ/Webサーバ 11.5 へのアップグレードの後のデフォルト エージェント エクスperiエンス ( 無しで )

自己によって署名された Tomcat は、自己 TomcatECDSA に署名しました	エージェントはライブ データ小道具およびチャット電子メール小道具の認証を入れるために頼まれます
RSA CA によって署名された Tomcat は、RSA CA TomcatECDSA に署名しました	エージェントは技巧およびライブ データを使用できますが電子メール チャット小道具はロードしないし、SocialMiner Web ページは load.*
RSA CA によって署名された Tomcat は、EC CA TomcatECDSA に署名しました	エージェントは両方データおよび chat-email* と住んでいます技巧を使用できます
RSA CA によって署名された Tomcat は、自己 TomcatECDSA に署名しました	エージェントはライブ データおよび電子メール チャット小道具の追加認証を受け入れるために頼まれます。 ライブ データ小道具からの認証を失敗しましたり、受け入れます電子メール チャット小道具からの認証をです successful.* 受け入れて下さい

## 関連情報

- UCCX ECDSA COPS - [https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=286309734&softwareid=280840578&release=11.5\(1\)&flowid=80822](https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=286309734&softwareid=280840578&release=11.5(1)&flowid=80822)
- SocialMiner ECDSA COPS - [https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=283613136&flowid=73189&release=11.5\(1\)&softwareid=283812550&sortparam=](https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=283613136&flowid=73189&release=11.5(1)&softwareid=283812550&sortparam=)
- UCCX 証明書情報- <http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/customer-collaboration/unified-contact-center-express/118855-configure-uccx-00.html>